

和歌山地方・家庭裁判所新宮支部

令和元年度キッズ法廷in新宮

～みんなで体験！裁判所～

☆開催報告☆

和歌山地方・家庭裁判所新宮支部では、裁判所をより身近に感じてもらうため、7月31日（水）に、小学生を対象とした「キッズ法廷」を開催しました。

当初予定していた7月25日から直前に日程を変更しましたが、10名もの小学生にお集まりいただき、「裁判官」、「検察官」、「弁護士」役に分かれ、模擬裁判の体験などを行いました。当日の様子を少しご紹介します。

～はじめに～

参加者の皆さんには法廷内のそれぞれの役の席に、保護者の方には傍聴席に座っていただき、まずは職員からのイベントの概要や本日の予定についての説明を聞いてもらいました。

～模擬裁判～



裁判官役の方の入廷から始まった模擬裁判は、スムーズに進行しました。裁判官役の方には本物の裁判官と並んで法壇に着席してもらい、

実際の裁判さながらに、訴訟指揮をしてもらいました。今回の裁判は、被告人白馬王子さんが新（シン）デレウさんのガラスの靴を盗んだのではないかという、窃盗被告事件。果たして判決は・・・？

～評議～



模擬裁判の審理が終わり、判決言渡しに向けて、全員で会議室に移動し、本物の裁判官とともに、この事件の被告人が「有罪」か「無罪」かを話し合う「評議」を行いました。

最初に多数決をとると、「有罪」だと思える人が多数派でしたが、最終の多数決では6：4で「無罪」に。みなさん迷いながら真剣に考えてくれました。

～判決～

評議が終わると、法廷に戻り、代表者に判決言渡しをしてもらいました。模擬裁判を体験することで、判断することの難しさや司法の役割の大事さなどを、少しでも感じてもらえたと思います。

～裁判官への質問コーナー&記念撮影～

模擬裁判の後は、裁判官への質問コーナーを行い、最後に、希望者の方には裁判官の着る「法服」を着て記念撮影をしていただきました。めったにない機会ということで、皆さんたくさん記念写真を撮って、思い出を持って帰っていただきました。



今回のイベントで、参加者の皆さんからは、「楽しかった。」「普段できない経験ができて良かった。」などの感想をたくさんいただきました。今後も、より多くの方に裁判所を身近に感じていただけるような広報活動を実施していきたいと思っております。夏休みの貴重な一日を使い、ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。